



かながわニュース

デザイン：篠塚 正典

認定NPO法人

スペシャルオリンピックス日本・神奈川
〒231-0014 横浜市中区常盤町1-7
横浜YMCA903

NO.93

TEL: 045-650-5216
FAX: 045-650-5217E-MAIL: jimu@son-kanagawa.com
http://www.son-kanagawa.com/

謹んで新春のお慶びを申し上げます



皆様、あけましておめでとうございます！

今年もアスリートたちの為に、と一緒に活発な活動をしてまいりましょう！

昨年、SON神奈川は設立30周年を迎えることができました。

記念式典には平岡拓晃SON理事長と黒岩祐治神奈川知事からビデオメッセージをいただき、会場には本村賢太郎相模原市長はじめ多くご協力企業様、そして永年SON神奈川に温かなご協力をいただきました方々、アスリート、ファミリー、コーチの皆さん、多くの関係者の方々の参加をいただき、感動的なお祝いの会となりました。第2部開幕のダンスパフォーマンスは圧巻でした！

30年の節目を超え、新たな一步を共に踏み出しましょう！



今年は東京ナショナルゲーム(全国大会)に140名の選手団を派遣するという一大行事を控えております。

日常のプログラムと共に、アスリートたちの活躍を楽しみにいたしましょう。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川
会長 翁持睦子

毎年、神奈川地区大会に参加するアスリート、ボランティアの皆さんに、パンのご提供を頂いているヤマザキパン様にお礼に伺いました。いつも有難うございます!! 今年も宜しくお願ひいたします(^^)/

P1 会長あいさつ

P2 設立30周年記念式典

P3 SONナショナルゲーム・東京 神奈川地区大会

P4-P6 9月から12月SP活動紹介①-③

P7 チャレンジキャンプ アスリート委員会活動

P8 チャリティイベント報告

P9 広報活動 Xmasボウリング大会

P10 新パートナー企業紹介・寄附報告等

【2026年の主な行事予定】

- ・2/21(土) スピードスケート地区大会 @相模原銀河アリーナ
- ・3/8(日) 社員総会 @横浜技能文化会館
- ・3/14(土) テニスCC @相模女子大学
- ・3/21(土) バスケットCC @太陽の家体育館
- ・4/5(日) バスケット地区大会 @県立スポーツセンター
- ・4/5(日) インクルーシブイベントinトレッサ横浜
- ・4/18(土) 競泳地区大会 @八部公園プール
- ・5/18(月) 第56回チャリティゴルフ大会 @箱根カントリー倶楽部
- ・6/5(金)-7(日) 夏季NG・東京 バスケット(US)、バドミントン、テニス
陸上競技、サッカー、卓球
- ・8/23(日) インクルーシブイベントinトレッサ横浜
- ・9/4(金)-6(日) 夏季NG・東京 バスケット(TR)、競泳、ボウリング
- ・9/6(日) サッカー地区大会 @県立スポーツセンター
- ・9/27(日) バドミントン地区大会 @県立スポーツセンター
- ・10/4(日) テニス地区大会 @県立スポーツセンター
- ・11/8(日) 陸上競技地区大会 @県立スポーツセンター
- ・12/5(土) インクルーシブイベントinトレッサ横浜

私たちの活動には安定した資金が必要です

ワンコイン(500円/月)寄付にご協力ください ⇒



スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人たちに日常的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を年間通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。その活動は多くのボランティアと企業・団体・個人からのご寄附によって支えられています。

スペシャルオリンピックス日本・神奈川 設立30周年記念式典



剣持会長挨拶



黒岩県知事ビデオレター



平岡SON理事長ビデオレター



ご来賓の方々

昨年、お陰様でSON神奈川は設立30周年を迎えることが出来ました。
これまで、たくさんの方々に私たちの活動のお手伝いや応援をしていただきました。
「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えるとともに、これまでの30年をいっしょに思い出しながら、
これから10年、20年のことを考える時間にしたいと思い記念式典を開催しました。

【日 時】2025年10月12日(日) 受付 13:00 開式 13:30 閉会 16:00

【会 場】藤沢商工会館(ミナパーク) 6階多目的ホール

【内 容】<第1部> 式典 13:30~14:15

- ・ご挨拶 主催者、ご来賓
- ・表彰 功労者、協賛企業

<第2部> 懇親会 14:30~16:00

- ・歓談、アトラクション

【出席者】来賓6名、功労者10名、15年以上継続ボランティア16名、協賛企業・団体14団体17名
一般(アスリート、ファミリー、ボランティア)52名、理事・監事・事務局等18名

※リズムダンスチーム17名(功労者1名含む) 計135名



<功労者表彰>



<15年以上継続ボランティア表彰>



<ご協賛企業・団体表彰>



2026年第9回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・東京

【大会スローガン】 Sports with all

【開催期間】

2026年 6月5日(金) - 7日(日) ※ 屋外競技中心

5日(金) 開会式：選手団入り

6日(土) 競技1日目：競技予選 / 競技決勝

7日(日) 競技2日目：競技決勝 / 表彰

2026年 9月4日(金) - 6日(日) ※ 屋内競技中心

4日(金) 競技前日：選手団入り

5日(土) 競技1日目：競技予選 / 競技決勝

6日(日) 競技2日目：競技決勝 / 表彰

/ 閉会セレモニー



【参加予定人員】

アスリート・パートナー 約1,400名

選手団役員・コーチ：約1,100名

大会役員・審判：約 500名

ボランティア：延べ 3,400名

ファミリー・応援団・観客：延べ 5,000名 合計約11,400名

【SON神奈川選手団】

神奈川からは全9競技にアスリート93名(男74名・女19名)、引率コーチ27名、追加スタッフ20名の計140名の選手団が出場します。

このナショナルゲームは2026年チリで開催されるワールドゲームの選考会でもあります。

競技	開催日	会場	At		コーチ	追加スタッフ	計
			男	女			
バスケット(US)	6/5(金)-7(日)	TOYOTA ARENA TOKYO	6	0	2	1	9
バドミントン		BumB東京スポーツ文化館	1	1	1	1	4
テニス		有明テニスの森	1	3	1	1	6
陸上競技		駒沢オリンピック公園	13	1	4	4	22
サッカー		駒沢オリンピック公園	7	0	2	1	10
卓球		駒沢オリンピック公園	4	1	2	2	9
バスケット(TR)	9/4(金)-6(日)	京王アリーナTOKYO	30	10	10	6	56
競泳		京王アリーナTOKYO	6	3	3	3	15
ボウリング		東京ポートボウル	6	0	2	1	9
		TOTAL	74	19	27	20	140

2026年第27回SON神奈川夏季地区大会

今年の夏季地区大会は夏季NGの前半競技は後期に、後半競技は前期に開催予定です。

競技	開催日	会場
バスケット	4/5(日)	神奈川県立スポーツセンター アリーナ2メインフロア(全面)
競泳	4/18(土)	藤沢八部公園プール
サッカー	9/6(日)	神奈川県立スポーツセンター 球技場1(天然芝)
バドミントン	9/27(日)	神奈川県立スポーツセンター アリーナ1メインフロア(半面)
テニス	10/4(日)	神奈川県立スポーツセンター テニスコート(8面)
陸上競技	11/8(日)	神奈川県立スポーツセンター 陸上競技場

※卓球、ボウリング、柔道、馬術は調整中です。

2025年9月～12月スポーツプログラム活動報告

9/20(土)SON愛知ボウリング競技会

名古屋グランドボウルで開催された3回目となるこの競技会にアスリート10名が出場しました。



設立25周年を迎えたSON愛知は、参加人数を拡大し、関東甲信越・近畿・中部13地区のアスリートが熱戦を繰り広げました。

3回目ともなると顔なじみとなったアスリートやファミリー同士が挨拶をかわし、和やかムードで始まりましたが、予選を終え昼食後の決勝では、真剣モードで持てる力を出し切って競技していました。

神奈川のエースのスコア（惜しくも1フレームのミスでパーフェクトならず）を観ようと通路を埋め尽くした観戦もあり、注目を浴びていました。



※報告を元に編集

10/18(土)第24回全国障害者スポーツ大会 「わたSHIGA輝く障スポ」オープン競技SOバドミントン

今年2度目となる滋賀県への遠征にアスリート5名(男性4名・女性1名)とコーチ2名が出場しました。

10/17(金)の付帯イベントに始まり、18(土)と19(日)のオープン競技が滞りなく行われ無事帰還しました。滋賀4地区に加え遠く鹿児島、高知、鳥取、大阪、福井、長野 更にSO香港12名とナショナルゲームより多い参加人数でした。

結果は筒井さん1位、高野さん1位、片山さん2位、荒井さん2位、坂井さん4位、坂東莉子さん3位でした。

他地区は、アスリート全体のレベルが高く、特にSO香港が上手で神奈川はもっとレベルアップの練習をしなければと思いました。

会場には、国スポ・障スポのキャラクターキャラッフィーとチャッフィーが現れデモンストレーションには、障スポ出場の車いす選手のラリーが行われ、会場いっぱいに多くの人が参加して大イベントといった感じでした。

アスリート同士も他地区と仲良く話をしたりして楽ししそうでした。

滋賀からは、この大会のために作った特製キーホルダー、障スポのバッヂ、エコバック、飲み物、おやつ、豪華なお弁当など沢山頂き恐縮しきりでした。※報告を元に編集



11/9(日) 2025年第11回SO日本九州・沖縄ブロック大会 第5回夏季福岡地区大会・馬術

福岡県の豊前恵光園ヒポクラブで開催され、神奈川からアスリート5名(鈴木万里英、福村真央、竹中力輝、斎藤駿、高階一仁)とコーチ1名(中田正子)が出場しました。

ディビジョンAは、1位～4位まで全て神奈川アスリートという喜ばしい結果でした。

※報告を元に編集



2025年9月～12月スポーツプログラム活動報告

第3回SON千葉地区大会に多くの競技が遠征 「ひとつのチーム、ひとつの笑顔」

【10月4日(土)柔道】

柔道大磯・横浜プログラムのアスリート11名が出場しました。両県のアスリートや一般の高校生、神奈川のプログラムで一緒に活動しているパートナーとで2チームを組み団体戦を行いました。どちらのアスリートも負けじと相手に向かい、「一本」を取るごとに、また胸を借りた高校生の手を抜かない真剣な態度に大きな拍手が沸き上りました。



※報告を元に編集

【10月18日(土)陸上競技】



横浜プログラムからアスリート2名が出場し、アットホームな雰囲気の中、伸び伸びと日頃の練習の成果を発揮することが出来ました。

八田沙羅さんは100mと1500mにエントリーし、1500mでは銀メダルを獲得しました。

櫻井 唯さんは100mと800mにエントリーし、100mと800mの両種目で金メダルを獲得しました。

※報告を元に編集

【11月9日(日)卓球】

松戸運動公園 体育館で開催され、アスリート18名(男性15名・女性3名)とコーチ2名が出場しました。

※報告を元に編集

【11月23日(日)サッカー】

アスリート7名が出場し、ボランティアの方とチームを組んだり、交流試合を行ったりと充実した一日でした。また、大学生部員のみなさんとの試合交流は良い刺激になったものと思います。

オールコート1チーム9名で行われたチーム競技では、東京・千葉・埼玉と対戦し1敗2分で3位でした。

※報告を元に編集



【11月24日(祝月)テニス】

横浜プログラムより3名のアスリートと2名のコーチが出場しました。東京、埼玉、群馬からの多くのアスリート、ファミリーやコーチも参加して日頃の練習の成果を発表しました。

秋晴れの素晴らしい天気に恵まれ、砂入り人工芝コート16面貸し切りで『ひとつのチーム、ひとつの笑顔』という大会スローガンのもと、男女のシングルス競技や個人技能競技を実施しました。

アスリート同士で技術を競いあつた後は、地元中学生テニス部の皆さん、テニス連盟からの審判の方々、後援企業からのボランティアの皆さんとアスリートがペアを組んでユニファイドダブルスを行い、和気あいあいとテニスを楽しむことが出来ました。そしてテニスだけでなく、近県との交流がアスリートにとってとてもいい経験となりました。

表彰式では全アスリートがそれぞれのメダルを胸に、万歳三唱で締めくくりました。

※報告を元に編集



2025年9月～12月スポーツプログラム活動報告

陸上競技

この時期はマラソンの季節。陸上横浜プログラムは多くのアスリート、ボランティア、ファミリーが様々な大会に出場し日頃の成果を十二分に発揮して完走しました。

【10月5日(日)東日本ハーフマラソン(駅伝)】

相模原米軍補給廠で開催され、アスリート9名とボランティア12名(内伴走者9名)が3チームを組んで出場しました。

- ・横浜陸上A AT:佐藤弘樹(伴:藤田浩幸)、吉井陽洋(伴:浅野 仁)
瀧明宏介(伴:堺 達哉)
VOL:前田めぐみ
- ・横浜陸上B AT:佐藤研人(伴:野崎大志)、石井 健(伴:西山英樹)
野崎大惺(伴:藤田俊太郎)
VOL:角 知美
- ・横浜陸上C AT:梶浦幹太(伴:梶浦貴之)、櫻井 唯(伴:角 三十五)
堺 春樹(伴:磯野秀夫)
VOL:茂呂順子



全体255チーム中、Aチーム124位、Cチーム144位、Bチーム204位でした。

【10月25(土)～27日(月) 全国障害者スポーツ大会(滋賀県)】

田中景一朗さんが横浜市代表、筒井陽悠さんが神奈川県代表として出場しました。

【10月26日(日)横浜マラソン】

フルマラソンにアスリート2名(佐藤研人、佐藤弘樹)・伴走ボラ2名(藤田浩幸、井出和夫)・ファミリー1名(田中征孝)、7kmにアスリート2名(末富達也、梶浦幹太)・伴走ボラ1名(梶浦貴之)・ボラ2名(浅野 仁、安斎彩織)、リレーマラソンにアスリート・ファミリーペア(大宮龍之介、勝之)が出場し、皆が力走しました。龍之介さんの伴走者は高校の時の先生でした。



【11月16日(日)かわさき多摩川マラソン】



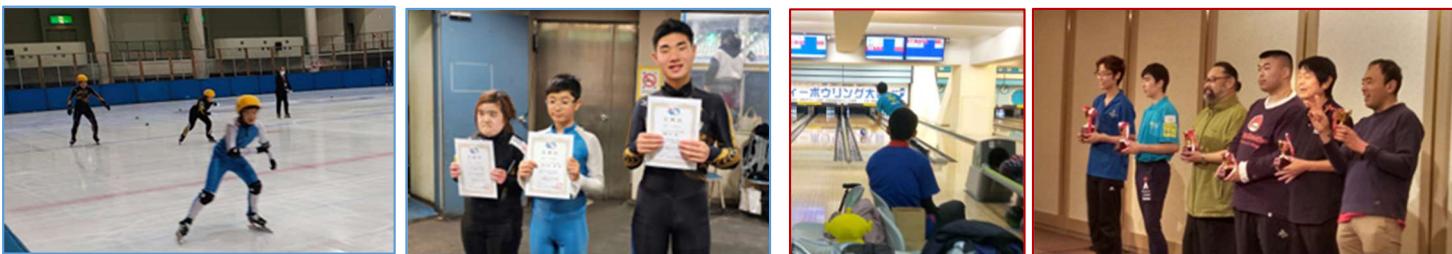
3kmにアスリート5名(石井 健、櫻井 唯、堺 春樹、高橋雄一、平吾慶人)・伴走4名、10kmにアスリート2名(笹川幸太、西野瑛斗)・伴走1名(角 三十五)、ハーフマラソンにアスリート1名(梶浦幹太)が出場し、それぞれみんなが完走しました。

※報告を元に編集

11/29(土)第63回神奈川県ショートトラックスピードスケート競技会

相模原銀河アリーナで開催され、アスリート3名(小山紗百合、真坂桔平、横幕渉)が333mに出場しました。

※報告を元に編集



11/30(日)第57回宮様チャリティボウリング大会

品川プリンスホテルボウリングセンターで開催され、一般の部に1名(渋谷起暉)、障害者の部にアスリート2名(菊地秀宜、平間康弘)が出場し、菊地秀宜さんは2ゲーム計441で第2位でした。

※報告を元に編集

<11/1(土)・2(日)チャレンジキャンプ>

毎年、夏に行なっていたキャンプを初めて秋に開催しました。今回のテーマは「チャレンジ!!」スポーツプログラムと重なり参加者が減るのではと案じましたか、全員で約50名の参加。ほぼ例年通りの参加に胸をなで下ろしました。

一日目、前日に降った厄落とし的な雨のお陰で文句なしの晴天。和田バス停から三浦YMCAまでの道のりも気分爽快で富士山も拝める幸先良いスタートでした。

秋開催による猛暑回避で5年ぶりに飯盒炊さんでのカレー作りとキャンプファイヤーが復活。

みんなが積極的に野菜を切り、米を研ぎ、カレーや米飯鍋の火を調節し、美味しく出来たのは勿論ですが、鍋などの調理器具の汚れ落としも楽しげに作業しているのが印象的でした。

二日目、朝のつどいでアスリートリーダー指導の下、ソングやダンスで心身共にウォームアップし、朝食でエナジーチャージ。部屋などの清掃を済ませ体育館で最後のレクリエーション。ダンスの盛り上がりはこれまでで一番だったように感じました。

そしてあっという間に閉村式。いつもながら感動と達成感と寂しさが胸中を渦巻いていました。

今年は、スタッフとリーダーに新たな顔が加わり、初参加のアスリートが化学変化を起こし、様々な出来事が新鮮味を帯びた一泊二日でした。

チャレンジキャンプ未体験の方、体験しないと分からない世界を人生に刻んでみませんか!!



<アスリート委員会の活動>

11/30(日)「新江ノ島水族館 探検(?)」



11月30日(日)湘南・江の島にある新江ノ島水族館（“えのすい”）をアスリート委員のメンバー9名が探検してきました。日頃の行いが良いからでしょう、当日は快晴でした。この日はチャリティイベントや広報イベントではなく、単純にアスリート委員のみんなで心から楽しむイベントでした。魚屋さんでは見られない深海の生き物やいろいろな展示を見て楽しみました。



12/14(日)「恒例！ゴミ拾いレンジャーin桜木町」

12月14日(日)恒例のアスリートと大道芸ボランティアの会の皆さんによる社会貢献活動が今回も開催されました。前日からの冷たい雨が、開始時間間際で止み、人出が戻ってきた桜木町駅前で、ゴミ拾い活動を行いました。神奈川大学の学生さんや明治安田生命保険相互会社の方々と一緒に花壇や垣根の飲料缶やペットボトル、吸い殻などを拾い集めました。

今回の成果(ゴミ回収)は28.48Kgでした。JR桜木町の駅前をクリーンに一掃しました。



<チャリティ活動>

第55回チャリティゴルフ大会実施報告 次回大会は5月18日(月)@箱根

10月20日(月)程ヶ谷カントリー倶楽部(横浜市)を会場に「第55回SON神奈川チャリティゴルフ大会」を開催しました。当日は雨の予報も出ていましたが、幸い天候に恵まれ、無事に大会を実施することが出来ました。

ランチタイムには、アスリートが大会で獲得したメダルを披露したり、日頃の活動や自分の仕事について語り、皆様からの質問に生き生きと答える姿が見られました。

今回は134名の皆様に参加頂き、参加費に加え「ショートホール・ワンオンチャレンジ」、また不参加の方々からのご寄付をも含めて総額「699,300円」

のチャリティを頂きました。また当日は「寄付金付きのちゃんぽん」も販売させて頂き、「114,600円」のお買上の内「約3割」も寄付として頂戴いたしました。SON神奈川のスポーツプログラム活動を含め、運営資金として大切に使わせていただきます。

次回は5月18日(月)に「箱根カントリー倶楽部」で開催を予定しております。

よろしくお願い申し上げます。



11/8(土)建長寺でチャリティコンサートを開催



11月8日(土)鎌倉五山第一位の建長寺本殿・龍王殿において「SON神奈川を支える会」主催のチャリティコンサートが開催されました。

ソプラノの倉斗絢子氏、バリトンの佐藤季敦氏、ピアノの辻喜久栄氏が出演し、来場者の皆様には本殿の厳かな雰囲気の中で演奏を楽しんでいただきました。

演奏後には、お茶席が設けられ来場者は抹茶を味合わされました。

また、建長寺が「けんちん汁」発祥の地であることにちなみ、点心庵のけんちん汁とおにぎりが振る舞われました。

会場内で行われた写真展では、来場者がスペシャルオリンピックスのアスリートと交流し、温かい声掛けを行いながら話を聞く様子も見られました。

主催者の支える会の皆様、来場者をはじめ、ご協力頂きましたすべての関係者に感謝致します。



12/7(日)インクルーシブイベントinトレッサ横浜
アスリートとボッチャで対戦!!を開催しました

クリスマスのイルミネーションが街を飾る12月7日の日曜日、トレッサ横浜にてインクルーシブイベント・写真展が開催されました。今回も、ヨコハマインクボッチャさんや大学生ボランティアのご協力のもと、多くの来場者の方々に楽しんでいただきました。何より、アスリートの活躍は素晴らしかったです。

今回も明治安田生命さんが、健康チェック(圧力測定・10秒カウント)ブースを設置し、その場を乗り上げてくださいました。他にも、SON神奈川クイズや写真展の案内係も担っていただき、定着したボランティア活動を行ってくださっています。

毎回ながら、パルシステム神奈川さんからのお菓子のご提供を参加賞や賞品として活用させていただきました。そして何より、会場を気持ちよくご提供くださるトレッサ横浜の皆さんに、心より感謝申し上げます。

参加者：計176名(子ども91名、大人85名) チャリティ総計：21,100円

今回のチャリティは、2026年のナショナルゲーム(全国大会)東京大会へのアスリートの遠征費に活用させていただきます。



<広報活動>

「新横浜パフォーマンス」



11月8日(土)新横浜パフォーマンスが開催され、ファンタスティックパレードに参加しました。横浜アリーナから新横浜駅前西広場のイベント会場までの約600mを、白バイに先導された市長の乗るオープンカーを先頭に13団体がパレードします。SON神奈川は6番目。陸上横浜のアスリート、アスリート委員を中心に「パレード参加人数が足りません!!」の呼びかけに飛び入り参加のメンバーを加え約20名が行進しました。「SOワールドゲームの時より応援の人が多くて緊張する」と言うぐらい沿道には多くの人たちが応援してくれ、「ドジャーズの気分」とも(^^)/



「平塚市民活動センター祭り」



11月23日(日)平塚地域の方々へ、スペシャルオリンピックス日本・神奈川の活動の紹介とアスリート・ボランティアの募集を呼びかける活動をしました。活動の写真掲示・モニターでの地区大会の様子を動画放映し、関心を持ってもらいました。「知らなかった」の声が多いことに、認知の低さを痛感しましたが、障害がある人の関係機関ブースに向き、連携のお願いをしました。



「ふじさわパラスポーツフェスタ2025」

11月23日(日)には藤沢市の秋葉台文化体育館で「ふじさわパラスポーツフェスタ2025」が開催され、写真展示とリズムダンスのメンバー10名が参加しイベントを盛り上げました。会場では様々なパラスポーツが体験できました。SON神奈川の写真展示ブースにも親子約80組が訪れましたが、SO活動については90%以上の方が「知らなかった」と。寂しい気もありますが、だからこそ写真展示などで活動を紹介する意味があるのです!!



12/20(土)「クリスマスボウリング大会」

恒例のクリスマスボウリング大会にアスリート、ファミリー、ボランティア計121名が参加しました。

今年は、ボランティアのバンドグループによるコンサートを開催しました。バンドオリジナル曲や東日本大震災被災者への応援ソングに感激の涙あり、もちろんクリスマスやアニメソングと一緒に歌ったり踊ったりして盛り上がって楽しんでいました。



新たなパートナー企業のご紹介



日本生命保険相互会社

日本生命保険相互会社湘南支社様が新たにパートナー企業としてお仲間に加わっていただきました。有難うございます。



【2025年寄附付き物販の報告】

2025年の4月から9月まで島原手延べそうめんの販売を行い、約40名の方にご購入頂きました。総個数は、399個、売上金額1,276,800円、寄付額399,000円となりました。また、10月から12月の期間は、ちゃんぽん・皿うどんセット、手延べうどん「鯛の奏」、手延べうどん「島原のれん」を販売しました。約30名の方にご購入頂きました。ちゃんぽんセットは116個、鯛の奏は33個、島原のれんは61個で売上金額600,700円、寄付額182,870円となりました。年間の寄付総額は581,870円となりました。昨年の寄付総額は659,900円でしたので、78,030円の減額となりました。ご協力を頂きました皆様に御礼申し上げます。2026年もヨロシク!!



【編集後記】 昨年秋の大きなイベントは、「SON神奈川設立30周年記念式典」です。本誌P2でも紹介いたしましたが、約140名の方々にご出席いただきました。30年にわたり神奈川でSO活動が続けられたのも、皆さまのご理解とご協力の賜物です。あらためて感謝申し上げます。付録で年表も用意しました。障がいのあるの方々を取り巻く環境は大きく変化しています。SON神奈川もそれに対応しながら、皆で力を合わせて新たな歩みを続けていきましょう。

SSKW かながわニュース No.93

発行所 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

編集元 NPO法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川

編集人 銀持 瞳子

編集スタッフ:SON神奈川事務局広報担当

定価:100円(代金は会費に含まれています)

ご寄付・ご協力(2025年9月～12月)

＜ご協力＞富士フィルムビジネスイノベーションジャパン神奈川支社、トレッサ横浜、パルシステム神奈川
ヨコハマ・インクルボッチャ・ラボ、横浜インターナショナルスクール、東海大学SOサポートーズ
程ヶ谷カントリー倶楽部、外山ふみ、大道芸ボランティアの会、
明治安田生命横浜支社みなどみらい営業所

＜ご寄付＞吉備力ヨ、御宿好晴、小山好夫、米澤喜美子、森 瞳子、佐藤翔太、栗原郁夫、小西理恵、山ノ内尊雄
△パスウェイソリューションズ △大安興業 △牧井ステンレス △日本生命湘南支社 △関東化成工業
△ナイス △SON栃木 △SON埼玉 △SON千葉 △SON東京 △SONKを支える会
△チャリティゴルフ実行委員会

＜協賛広告＞やのハートクリニック、かながわパラスポーツ協会、関東学院中学校高等学校、
神奈川県バスケットボール協会、大安興業、イトメン、関東化成工業、トーエル、パルシステム神奈川
グレイスホテル、アイネット、ライオンズクラブ国際協会330-B地区、谷川商店、ナイス

＜ワンコイン＞スマイルワン、伊藤厚、坂本征之、古田和也、林尚恒、森 真幸、笹田啓介、劍持瞳子、林 智美
儀賀裕理、梶田章子、野村洋子、中村由美、長島由佳、星野圭美、宮下裕輝、桑原茂、林 直美
安齋正明、杉本眞由美、匿名1名

＜助成金＞神奈川心身障害児福祉基金、程ヶ谷基金、厚生労働省

＜募金箱＞トレッサ横浜

＜支援自販機＞横浜ゴム、ニッパツ、ディスコ、前田邸、関東学院中学校高等学校、スマイルワン、三共自動車学校
岡本ライディングクラブ ※順不同 敬称略 個人からのご寄付は3,000円以上の方を掲載しています。ご了解下さい。

＜パートナー企業＞ 繙続的にご寄付・物品提供いただいている企業・団体様をパートナーと呼んでいます



inet 株式会社 アイネット



関東化成工業株式会社



北川商事株式会社



三共自動車学校



ぜんち共済株式会社



彩りある未来を、樹とともに
NICE ナイス



FUJIFILM 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

